

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年02月02日

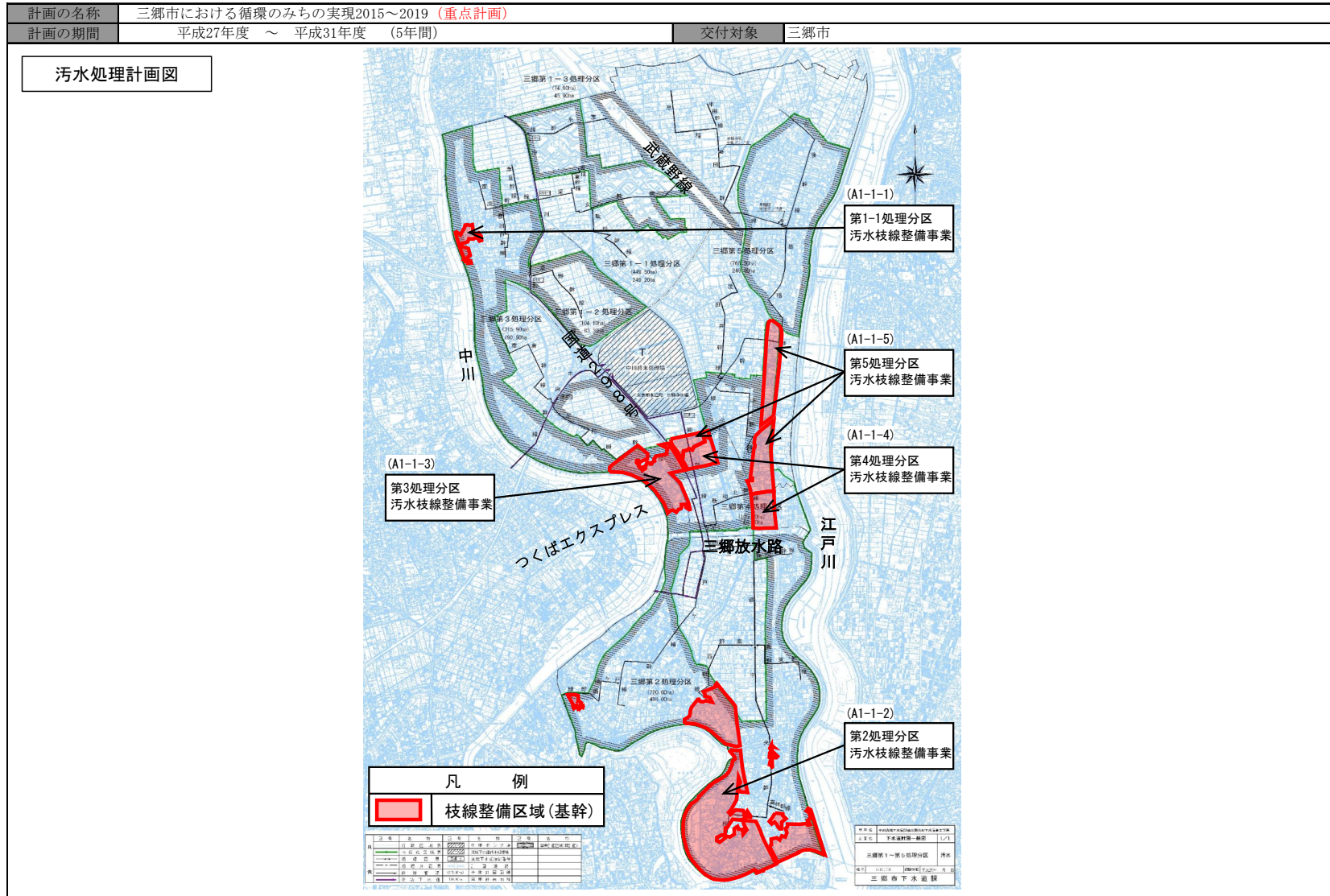
計画の名称	三郷市における循環のみち創造計画2015～2019（重点計画）							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）												
交付対象	三郷市												
計画の目標	下水道整備による水環境の改善及び集中豪雨の多発や開発事業の進捗による都市化に伴う浸水被害対策により水に対する安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,514	A	7,514	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H27当初）	（H29末）	（H31末）
1	下水道処理人口普及率を77%（H27）から87%（H31）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	77%	84%	87%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠(汚水)	新設	第1 - 1 処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備1.50ha	三郷市					293		-	
	A07-002	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠(汚水)	新設	第2 処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備109.38ha	三郷市					4,218		-	
		H30年度より重点計画へ移行																	
	A07-003	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠(汚水)	新設	第3 処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備25.98ha	三郷市					1,533		-	
		H30年度より重点計画へ移行																	
A07-004	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠(汚水)	新設	第4 処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備7.14ha	三郷市					395		-		
A07-005	下水道	一般	三郷市	直接	三郷市	管渠(汚水)	新設	第5 処理分区汚水枝線整備事業	管渠整備18.30ha	三郷市					1,075		-		
										小計					7,514				
										合計					7,514				

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 三郷市における循環のみち創造計画2015～2019（重点計画）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的な事業の展開が見込まれる。	○

事前評価		チェック欄
III.計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境		
III.計画の実現可能性		
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
III.計画の実現可能性		
2)計画について住民等との間で合意が形成されている。		○

交付金の執行状況

(単位：百万) (単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31	R2
配分額 (a)	271	239	450	350	270	-
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	271	239	450	350	270	-
前年度からの繰越額 (d)	0	163	143	274	200	173
支払済額 (e)	108	259	319	424	297	173
翌年度繰越額 (f)	163	143	274	200	173	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由						

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載